

2024 年 8 月 23 日
梶山女学園大学

建築を通した半田市の活性化を学生主体で挑戦

愛知県で建築を学ぶ 8 大学の研究室が、愛知県半田市で 建築公開イベントを実施

愛知県下では事例の少ない先駆的なイベント

愛知県で建築を学ぶ 8 大学の研究室が合同で、愛知県半田市で建築公開イベントを実施します。建築を通した地方都市の活性化に学生主体で挑戦します。普段見られない建築を期間限定で一斉に公開する建築公開イベントは、東京、大阪、京都など大都市で継続して開催されていますが、大都市圏では実現できない、その街に暮らす人が大切に思う建築を、専門家と学生が関わり一般公開することで、さらなる建築への愛着と今後に向けた新たな機運を高めることを目指します。建築公開のイベントは、愛知県ではまだ取り組みが少なく、愛知県下では先駆的なイベントです。

【背景】

歴史的価値のある建築の保存や利用、まちづくりに向けた市民の機運向上は多くの自治体が抱えている問題です。2021 年から建築を学ぶ研究室と学生が半田市の活性化を視野に、まちづくり提案を行う「Handa Downtown Regeneration Workshop（HanDReW）」を開催してきました。この取り組みは日本建築学会東海支部事業の一環として行い、半田市の協力を得て、これまで 3 回開催しています。海外や県外の学生も参加して、現地に長期滞在しながら、半田の文化・自然・建築について丹念な調査を行い、提案へとつなげてきました。

【概要・特色】

- ① 従来の提案は、web 公開や駅構内で展示することで、半田に残る建築の力を再認識する発信をしてきました。2024 年度は、文化・自然・建築は現地に訪れてこそ、その魅力を最大限に理解できるものと考え、半田市に点在する、優れた建築を日時限定で特別公開します。
- ② 施設ごとに担当大学を設定し、学生による建築紹介パネルや模型を展示します。学生が調査した魅力を展示やツアー等の様々なイベントで紹介します。また、通常一般公開されていないエリアをこの期間のみガイド付きで見学できるようにしています。
- ③ 学生視点で建築の魅力を一般（半田市民）に伝えることで、これまで半田市民の日常の中にあった、建築をより特別感を持って、捉えられるようにすることを目指しています。
- ④ 公開都市の規模が、小規模都市であるため、観光客を主とした大都市イベントと比較し、市民に向け、自分のまちの魅力を再発見する機会と位置付けている点も特色です。
- ⑤ 公開される建築は歴史的建造物から竣工後間もないものまで、多様性に富んでいます。加えて、各建物では学生による建築案内及び、解説パネルの展示を行い、見学するだけでは得られない、特別感を演出する予定です。
- ⑥ 建築デザインを学ぶ学生は、授業の設計課題においても最後を自分の設計提案としてフィニッシュさせます。今回の取り組みは設計提案の基礎となり、授業では深めづらい、調査と表現（展示やツアー）を主にしている点において、重要な教育的効果も見込んでいます。

【はんだ建築まつり】

■開催日時・場所

2024 年 9 月 28 日（土）～10 月 6 日（日）

半田市中心部及び亀崎エリア（公開建築一覧は別紙）

<特別講演 1>

「水辺のある自然共生都市の未来 ―運河のまち 半田で考える―」

講師：岡田憲久氏（景観設計室タブラ・ラサ主宰、名古屋造形大学名誉教授）、秀島栄三氏（名古屋工業大学教授）

日時：2024 年 9 月 28 日(土)14 時 30 分～17 時 30 分

場所：半田赤レンガ建物クラブハウス A

<特別講演 2>

「歴史が拓く未来の住まいづくり・まちづくり」

講師：後藤治氏（工学院大学理事長）、青木茂氏（青木茂建築工房主宰）、益尾孝祐氏（愛知工業大学准教授）

日時：2024 年 9 月 29 日(日)14 時 30 分～17 時 30 分

場所：半田赤レンガ建物クラブハウス A

<特別講演 3>

「建築公開イベントが人とまちにもたらすもの」

講師：山名善之氏（東京理科大学教授）、倉方俊輔氏（大阪公立大学教授）

日時：2024 年 10 月 6 日(日)10：00 ～12：00

場所：半田赤レンガ建物クラブハウス C

■チケット

一般 1000 円（前売り 800 円）、大学生 500 円（前売り 400 円）、高校生以下無料

チケット 1 枚で期間中の建物見学と、講演会に参加可能。公開建築によっては特別見学エリアを設けます。その際、特別入場料が必要となる場合があります。

【主催】

はんだ建築まつり実行委員会

実行委員長 村上 心（椋山女学園大学）

事務局 井澤 幸、高橋里佳、竹田和行（椋山女学園大学）

メンバー：生田 京子（名城大学）、今西 貴美（愛知産業大学）、坂口 大史（日本福祉大学）、太幡 英亮（名古屋市立大学）、夏目 欣昇（名古屋工業大学）、益尾 孝祐（愛知工業大学）、松本 佳津（愛知淑徳大学）

■参加大学

愛知工業大学益尾研究室、愛知産業大学今西研究室、愛知淑徳大学松本研究室、椋山女学園大学井澤研究室・村上研究室、名古屋工業大学夏目研究室、名古屋市立大学太幡研究室、日本福祉大学坂口研究室、名城大学生田研究室

■協賛

コンキャリ（（株）キャリア・ナビゲーション）

■協力

半田赤レンガ建物

■後援

半田市、半田市観光協会、半田市教育委員会、日本建築学会東海支部、日本建築家協会東海支部愛知地域会
愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、建通新聞社中部支社、中日新聞社

【本件に関するお問合せ先】

椋山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 担当：井澤

TEL：052-781-4437 メールアドレス：izawa@sugiyama-u.ac.jp

9.28 Sat

→ 10.6 Sun

は
ん
だ
建
築
ま
つ
り

地域の人と建築

愛知県半田市に点在する過去から現代までの優れた建築を日時限定で特別に公開します。各建物では学生による建築案内及び、解説パネルの展示を行い、見学するだけでは得られない、人と人の繋がりによる特別な体験を提供します。大都市圏では実現できない、地域に暮らす人が大切に思う建築を、専門家と学生が関わり一般公開することで、さらなる建築への愛着と今後に向けた新たな機運を高めます。

【開催場所】 半田市中心部及び亀崎エリア

裏面に記載の各公開建物に直接お越しください

【特別講演】 「水辺のある自然共生都市の未来 ―運河のまち 半田で考える―」

講師：岡田憲久（景観設計室タブラ・ラサ主宰、名古屋造形大学名誉教授）、秀島栄三（名古屋工業大学教授）
9月28日（土）14：30～17：30 半田赤レンガ建物クラブハウス A

「歴史が拓く未来の住まいづくり・まちづくり」

講師：後藤治（工学院大学理事長）、青木茂（青木茂建築工房主宰）、益尾孝祐（愛知工業大学准教授）
9月29日（日）14：30～17：30 半田赤レンガ建物クラブハウス A

「建築公開イベントが人とまちにもたらすもの」

講師：山名善之（東京理科大学教授）、倉方俊輔（大阪公立大学教授）
10月6日（日）10：00～12：00 半田赤レンガ建物クラブハウス C

※入場先着順、定員になり次第締切

【共通チケット】 一般 1000 円 大学生 500 円 高校生以下無料

前売り割引有り→購入方法は裏面へ

主催：はんだ建築まつり実行委員会

（椋山女学園大学、名古屋工業大学、日本福祉大学、愛知工業大学、愛知産業大学、愛知淑徳大学、名古屋市立大学、名城大学）

協賛：コンキャリ（運営：株式会社キャリア・ナビゲーション）

協力：半田赤レンガ建物

後援：半田市、半田市観光協会、半田市教育委員会、日本建築学会東海支部、日本建築家協会東海支部愛知地域会
愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、建通新聞社中部支社、中日新聞社

2024

HUMAN

AND

ARCHITECTURE

共通チケット

【当日券】 一般 1000 円 大学生 500 円

【前売券】 一般 800 円 大学生 400 円

高校生以下無料

共通チケット 1 枚で期間中の建物見学および講演会にご参加いただけます。各建物毎で共通チケットとは別に入場料等が必要になる場合があります。詳細は下記「公開建物」の情報をご確認ください。

<購入方法>

各施設の受付で公開期間のみの現金販売
(期間限定の施設については該当期間のみの販売)

※チケットの不正転売・譲渡は固く禁じます。

※事故、怪我、トラブル等の損害において主催者側は一切の責任を負いません。

前売券のお申込は
9/25 までに
QR コードより
お願いします



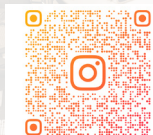
公開建物

01. 旧中荏半六邸・半六庭園 
02. 春扇楼 末廣 
03. 半田運河周辺
04. MIZKAN MUSEUM (MIM) 
05. 半田赤レンガ建物  
06. 重要文化財 小栗家住宅
07. アトリエ イリマル
08. 重要文化財 旧中荏家住宅
09. 國盛 酒の文化館 
10. 半田市創造・連携・実践センター 
11. 望洲楼・成田家本宅 
12. JR 亀崎駅舎
13. 旧伊東合資会社 (酒蔵)  
14. 亀崎大坂
15. 三軒長屋
16. 街かどサロンかめとも

 別途料金有り  要予約

※施設によって一部のみ予約や別途料金が必要な場合もあります。アイコンの有無に関わらず、QR コード (Instagram) より詳細をご確認のうえ、ご見学をお願いします。

各建物の詳細は
QR コードより
ご確認ください



@HANDA_ARCHITECTURE

特別講演 01 9月28日 (土)

水辺のある自然共生都市の未来 —運河のまち 半田で考える—

「はんだ建築まつり」では市内の多くの歴史的建築や現代の優れた建築を公開・紹介しますが、半田の建築やまちを語る上で、歴史的に半田の文化や産業を発展させ、建築を育んだ半田運河の存在が欠かせません。そして、市街地から少し足を伸ばすと、矢勝川周辺には懐かしさを感じさせる里山風景が広がっています。これからの自然と共にある暮らしを考えると、「運河・水辺」には大きなポテンシャルがあります。このシンポジウムでは、ランドスケープ・都市・土木等の多角的視点から運河に着目し、他都市の事例も参照しつつ、運河のまち半田の未来について考えます。

講演① 岡田憲久 (景観設計室タブラ・ラサ主宰、名古屋造形大学名誉教授)

「都市の中で再び自然と共にあるために
—庭から読み解く自然と人間の関係の暮らしの文化—」

講演② 秀島栄三 (名古屋工業大学教授)

「人はなぜ水辺に魅せられるのか」

特別講演 02 9月29日 (日)

歴史が拓く未来の住まいづくり・まちづくり

近年、使い続ける歴史的建造物に対してリビングヘリテージという概念が重視されており、遺産の保存より変化を許容しながら遺産を継承していくことが重視されるようになってきている。特に我が国では、歴史的建造物の空き家問題が顕著となっており、利活用し続けることで、より広く歴史的建造物の総体をマネジメントすることが期待されている。これらを利活用する上で、既存不適格の法適合に対する課題が大きい。文化財建造物では、建築基準法を適用除外し、代替措置を講じながら、歴史的建造物の保存活用がなされてきた。都市拡大社会から低成長成熟社会を迎え、生きた遺産として歴史的建造物を守る知恵を改めて学ぶ機会としたい。

講演① 後藤治 (工学院大学理事長)

「歴史的建造物や歴史的市街地を守る知恵」

講演② 青木茂 (青木茂建築工房主宰)

「文化財へのリファイニング手法の適用」

講演③ 益尾孝祐 (愛知工業大学准教授)

「歴史的建造物群の活用によるエリアリノベーション」

特別講演 03 10月6日 (日)

建築公開イベントが人とまちにもたらすもの

「はんだ建築まつり」のフィナーレは、国立西洋美術館の世界遺産登録など、歴史的建築物の文化遺産に関する研究で世界的に活躍されている山名善之先生、大阪、京都、神戸、東京などで建築公開イベントを創り上げ、主催・運営に関わっている倉方俊輔先生を講師に招き、建築公開イベントの意義と波及効果をお話しいたします。後半は、本イベントの主催者、半田まちづくりの関係者が加わり、「はんだ建築まつり」の今後の展開を中心に、半田の建築とまちの未来について、会場の皆様と共に考えます。

講師 山名善之 (東京理科大学教授)、倉方俊輔 (大阪公立大学教授)